

再びの〈3.11〉へ向けて

アメリカ・ヨーロッパ・中国
—鎮魂の世界巡礼への旅立ち—

TAMAYOBARI

魂のつばり



2/11 PM1:30~PM4:00
遠野市宮守町〈みやもりホール〉入場無料

あの日から一年が過ぎました。街・人・思い出、私たちが失ったものは数知れません。どれだけ多くの人が苦しみ、泣いたことか。今も私たちの心は、過去と未来の狭間に揺れ動いています。

けれども、そんな出来事とひきかえに、私たちが思い起こしたことがあります。苦難の中で支え合う、人と人の絆の大切さに気づいたことです。被災者とボランティアが、ふるさとと世界がつながり、未来に向かって歩み出しています。

この一年の節目に私たちは、あの日天に昇った数多くの魂と、そのいのちを継いで生きてゆく私たちの魂を、遠い昔から受け継がれてきたふるさとの郷土芸能に込めて世界に伝えてゆきたいと思います。

再びの〈3.11〉を前に、世界に旅立つふるさとの舞手たちに、どうかあなたの魂を託してください。

- ご挨拶 主催:NPO法人遠野まごころネット理事長 多田一彦 ■共催:遠野市長 本田敏秋 ■協力:国際交流基金 横道文司
●郷土芸能公演 湧水神楽(遠野市)、白澤鹿子踊り(大槌町) ●気仙語による詩の朗読 照井良平「ばあさんのせなか」
●メッセージ 黒森神楽(映像) ●魂移し 桜舞太鼓(釜石市)から鬼太鼓座へ
●世界巡礼への決意表明 湧水神楽、白澤鹿子踊、鬼太鼓座

主催:手つなぎプロジェクト実行委員会/遠野まごころネット
共催:遠野市 協力:国際交流基金

チラシ プログラム資料

3・11へ～魂呼び

日時 2月11日午後1時半～4時

会場 遠野市宮守町の宮守ホール

- 1 開式のことば（司会者 多田るみ子）
- 2 主催者挨拶 多田一彦
- 3 共催者挨拶 本田市長
- 4 挨拶 国際交流基金 横道文司
- 5 公演 湧水神楽（遠野市）
白沢鹿子踊り（大槌町）
気仙語による詩朗読 照井良一 「おばあさんのせなか」
- 6 メッセージ 黒森神楽
- 7 魂移し 桜舞太鼓（釜石市）から鬼太鼓座へ
- 8 決意表明、湧水神楽、白沢鹿子踊り、鬼太鼓座
- 9 閉会

湧水神楽、黒森神楽、白沢鹿子踊りの3団体は2月29日からそれぞれアメリカ、フランス、中国に「鎮魂の巡礼」という趣旨の海外公演に行きます。国際交流基金が進める、世界の人々と手をつなごうという事業の一環です。公演には被災地以外からも鬼太鼓座などプロの芸能集団が同行します。この人たちに被災地の魂を吹き込んでもらう出発式です。「魂呼び」には、被災した人々の魂を呼び戻すという意味が込められています。被災者の魂も一緒に行ってもらいたいと思っています。

3団体は、それぞれの公演先で、東日本大震災を語り伝え、みなで手をつないでくる予定です。

照井良平氏＝花巻市 「文化の国体」と呼ばれる国民文化祭の今年度の現代詩部門で、「おばあさんのせなか」が、最優秀賞にあたる文部科学大臣賞を受賞。実家の陸前高田市のがれきに立つお年寄りの心と、ふるさとを流された自分の思いを重ねた作品。

主催 手つなぎプロジェクト実行委員会

遠野まごころネット

共催 遠野市

協力 国際交流基金